



KONICA MINOLTA

株主の皆様と描く、コニカミノルタの軌跡

MILESTONE

マイルストーン：一步一步の取り組みを大きな道しるべに

Giving Shape to Ideas

コニカミノルタ ホールディングス株式会社

株主通信

2013年(平成25年)3月期 第3四半期

証券コード：4902

1 プロフィール / 3 株主の皆様へ / 5 事業別概況 / 7 トピックス

■ プロフィール

コニカミノルタは、経営理念「新しい価値の創造」のもと、「イメージングの領域で感動創造を与えつづける革新的な企業」と「高度な技術と信頼で市場をリードするグローバル企業」を目指していきます。

ヘルスケア事業

最先端の画像処理技術を活かした画像診断システムの製造・販売や保守およびサービス事業を展開しています。

※
19%

産業用材料・機器事業

液晶ディスプレイに使用されるTACフィルムや一眼レフ交換レンズなどが主力製品であり、さらに成長事業である有機EL照明分野や機能性フィルム分野などで構成されています。

※
9%

※
2%

その他事業

産業用インクジェット事業やプラネタリウム事業で構成されています。



※
70%

情報機器事業

主力である、複合機(MFP)を扱うオフィス分野と、成長領域である、商業印刷や企業内印刷で展開するプロダクションプリント分野で構成されています。

※ 2012年度通期業績予想ベースにて各セグメントの売上構成比を掲載しています。

オフィス分野

海外で

トップレベルのシェア

(A3カラー複合機)

A3カラー複合機(MFP)の販売は、米・欧でシェア2位、中国では1位と、海外においてトップレベルのシェアを誇っています。



「bizhub C554」シリーズ

プロダクションプリント分野

グローバルでトップシェア

(カラーデジタル印刷システム)

成長領域であるプロダクションプリント分野におけるカラー機の販売台数は、世界シェアでNo.1を獲得しています。

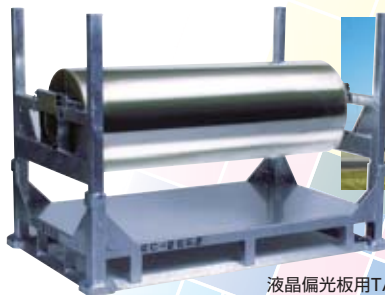


「bizhub PRESS C8000」

視野角拡大用VA-TACフィルム

大型液晶テレビ用途でトップシェア

液晶テレビや携帯電話などの液晶画面に、視野角拡大機能を持たせる視野角拡大用VA-TACフィルムは、グローバルで大口顧客に品質を評価され、トップシェアを獲得しています。



液晶偏光板用TACフィルム



TACフィルム製造工場
(兵庫県神戸市)

■ 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

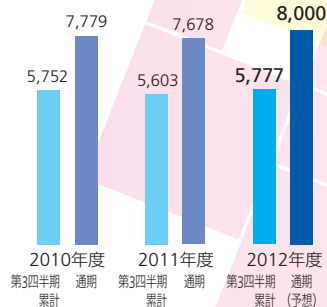
当社グループの2013年3月期第3四半期連結累計期間(2012年4月～12月、以下「当期間」)の概況をご報告いたします。

当期間のグループ業績は、円高環境が続く中、産業用材料・機器事業がグループ業績を牽引し増収増益の決算となりました。

情報機器事業では、オフィス分野は市場全体の需要が大きく伸びない中で、A3カラー複合機(MFP)の新製品投入やITサービス力強化の取り組みが奏功して、当期間の販売台数は前年同期を上回りました。プロダクションプリント分野でも厳しい市場環境の中、新製品の投入や営業力強

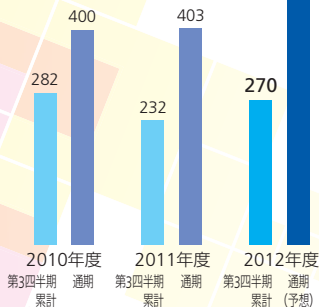
売上高

(億円)



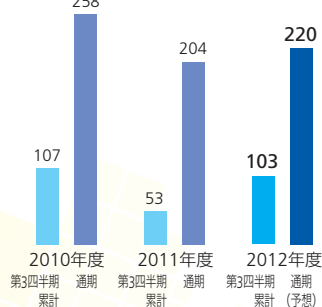
営業利益

(億円)



当期純利益

(億円)



化の取り組みにより、当期間の販売台数は前年同期を上回りました。

産業用材料・機器事業では、一部の製品で市況悪化や在庫調整の影響等を受けて販売が振るわなかったものの、液晶偏光板用TACフィルムやデジタル一眼レフカメラ用交換レンズ、光源色計測機器は前年同期を上回る販売数量となるなど、総じて堅調に推移しました。

ヘルスケア事業では、デジタルX線画像診断システムの販売が堅調に推移しました。

これらの結果、当期間における当社グループの連結売上高は5,777億円(前年同期比3.1%増)、営業利益は270億円(同16.3%増)、四半期純利益は103億円(同91.1%増)となりました。このように当期間は円高による影響を受けましたが、各事業における主力製品を中心とした販売強化の取り組みにより、前年同期比で増収、増益となりました。

当社はデジタル機器およびソリューションの

販売強化と将来の業容転換を目的としたM&Aを積極的に進めています。情報機器事業のオフィス分野では、ITサービス力の強化を図るため、ITサービスプロバイダーを欧州で2社、米国で3社実施しました。プロダクションプリント分野では、企業内印刷市場における営業力、ソリューション提案力強化を図るため、日本や欧州で企業買収を行いました。また、産業用材料・機器事業でも光源色測定領域での競争力強化を図るため、欧州の企業を買収しました。

今後もこれら成長に向けた施策をグループ一丸となって推進し、“力強く成長を続け、社会から必要とされる企業”の実現を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年2月

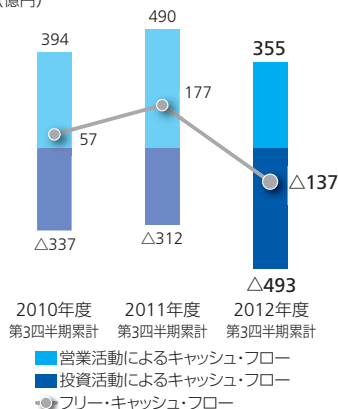
コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長

松崎 正年

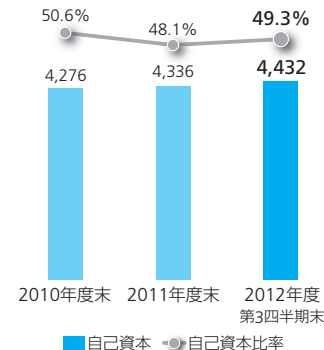
キャッシュ・フロー

(億円)



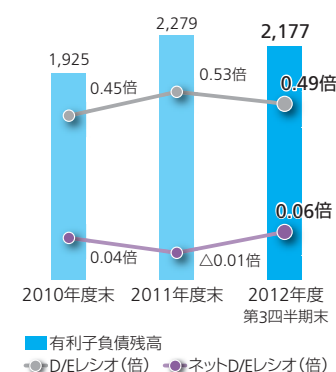
自己資本／自己資本比率

(億円)



有利子負債／D/Eレシオ／ネットD/Eレシオ

(億円)



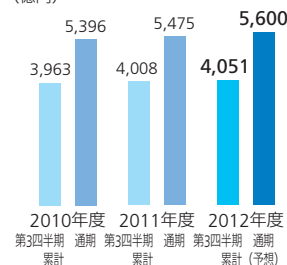
■ 事業別概況

情報機器事業



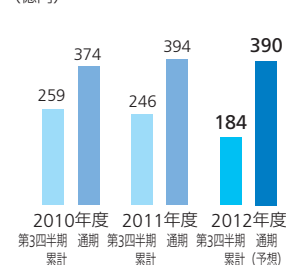
売上高

(億円)



営業利益

(億円)

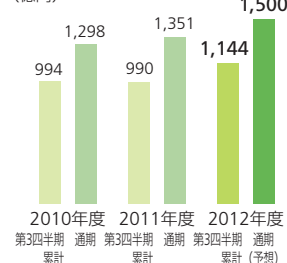


産業用材料・機器事業



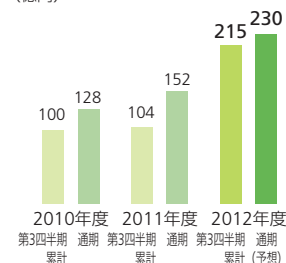
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



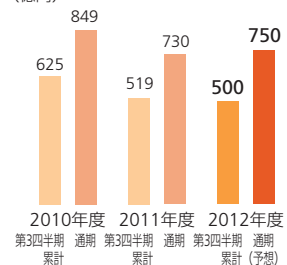
※2010年度は旧オプト事業の実績値

ヘルスケア事業



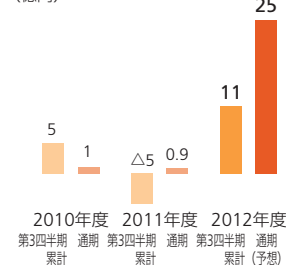
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



※2010年度上半期は旧グラフィック事業を含む

オフィス分野では、当上半期に新製品5機種を順次発売を開始したA3カラー複合機(MFP)「bizhub(ビズハブ)」シリーズが好調に推移し、カラー機の販売台数は日米欧他の地域で前年同期を上回りました。モノクロ機は景気が減速している欧州や中国などで前年同期を下回りましたが、A3MFP全体の販売台数は前年同期を上回りました。当分野の成長領域として取り組みを強化しているグローバルレベルでの大口顧客向け販売では、欧州の大手印刷・医療機材メーカーとグローバル契約を締結するなど、当期間も顧客数を拡大しました。

プロダクションプリント分野では、カラー機は景況感の悪化

や競争が激化する厳しい市場環境の中で米国および日本などでの販売増が寄与、モノクロ機は上半期から発売を開始した「bizhub PRO(ビズハブプロ)951」「bizhub PRESS(ビズハブプレス)1250」の新製品効果もあって、当期間の販売台数はカラー機、モノクロ機とも前年同期を上回りました。

これらの結果、当事業の外部顧客に対する売上高は4,051億円、前年同期比増収となりました。営業利益は184億円となり、為替影響に加えて一部製品でのコストダウン計画の未達や販売強化にかかる先行的な費用増が重なり、減益となりました。

ディスプレイ材料分野では、液晶偏光板用TACフィルムや視野角拡大用VA-TACフィルムなど当社の強みである薄膜製品が当期間を通して好調に推移し、これらTAC製品の販売数量は前年同期を上回りました。また、業界に先駆けて、モバイル市場向けに膜厚25 μ mの超薄膜TACフィルムの量産を昨年11月より開始しました。

メモリー分野では、HDD用ガラス基板は昨年夏以降、市況悪化に伴う生産調整などの影響もあり受注が激減し、当期間の販売数量は前年同期を大きく下回りました。光ディスク用ピックアップレンズはブルーレイディスク用、DVD用とも市況回復は見られず、販売は伸び悩みました。画像入出力コンポーネント分野では、デジタル一眼カメラ用交換レンズやコンパク

トカメラ用ズームレンズユニットで当社製品の採用が広がり、携帯電話用レンズユニットはスマートフォン向け出荷が昨年初から始まるなど、いずれの製品も当期間の販売数量は前年同期を上回りました。計測機器分野では、スマートフォンなどのディスプレイやLED照明器具の製造工程の中で品質管理に使われる、色彩照度計やディスプレイカラーアナライザーなどの光源色計測機器の大口受注を獲得し、当期間の販売数量は前年同期を上回りました。

これらの結果、当事業の外部顧客に対する売上高は1,144億円、営業利益は215億円となりました。メモリー分野など一部製品を除いて当事業の主要な製品全般の販売物量増により、前年同期比で増収増益となりました。

国内外の医療施設に向けて、デジタルX線画像診断システムの販売拡大に取り組みました。当社の独自開発および自社生産による高画質シンチレータ(蛍光体)を搭載したカセツテ型DR(デジタルラジオグラフィ)「AeroDR(エアロディーアール)」は、一般撮影装置向けや回診車向けなどの販売が好調に推移し、当期間の医療用デジタル入力機器の販売台数は

前年同期を上回りました。フィルム製品は、先進国を中心に販売減が続きました。

これらの結果、当事業の外部顧客に対する売上高は500億円となりました。営業利益は、DR製品の販売増による採算改善と経費管理の徹底により11億円となり、前年同期の5億円の損失から黒字転換しました。

事業関連

業容転換に向けた企業買収実施の進捗状況

当社グループは、事業規模や業容の拡大、業態の変化による成長の実現に向け、積極的に企業買収を行っています。ここでは、2013年3月期第3四半期に実施した企業買収の中で、Charterhouse PM Limited（本社：イギリス、以下CH社）とInstrument Systems GmbH（本社：ドイツ、以下IS社）についてご説明します。

CH社は、印刷物のコストダウンや業務プロセス改善、マーケティング企画支援などのサービス事業を欧州18カ国で展開しており、数多くのグローバルカンパニーとの取引実績を有するプリントマネジメントサービスの大手企業です。今回の買収によって、成長領域におけるマーケティングとコンサルティングのノウハウおよび欧州地域の企業顧客と印刷業者のネットワークを取得しました。これによりソリューション提案力の強化や新しいサービスの提供をし、お客様の満足度向上、提供価値の拡大を図っていきます。

IS社は、照明業界において高い技術力・営業力を持つ照明関連測定機器分野のトップ企業です。今回の買収によって、当社がすでにNo.1のシェアを有するディスプレイ測定分野の競争力をさらに強化することができます。加えて、LED光源や有機EL光源といった照明分野も含む総合的な光源色測定領域においてもトップポジションを保持し続けることができると考えており、当社グループの成長戦略に合致した企業買収と位置付けています。

今後も、グループ全体の企業価値向上に努め、成長に向けた取り組みを加速させます。

Bringing ideas to life
= Charterhouse

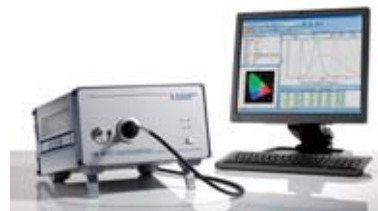


調印式で握手するCharterhouse PM Limitedとコニカミノルタビジネスソリューションズヨーロッパ社の両社長

Instrument
Systems
light measurement



LED配光測定システム



さまざまな用途に利用できる高速分光測定器

CSR関連

カラー複合機メーカー初となる「エコマークアワード2012」銅賞を受賞



このたび、カラー複合機「bizhub(ビズハブ)Cシリーズ(bizhub C754/C654/C554など)」のライフサイクル全体での環境負荷低減活動が、「エコマークアワード2012」銅賞に選定されました。カラー複合機メーカーが銅賞を受賞するのは初めてのことです。「エコマークアワード」は、「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みを行った企業・団体等を表彰するものであり、当社グループの地球環境問題解決への取り組みが評価されたものであると考えております。これからも、事業活動を通じて、グローバルな課題である環境負荷低減に取り組んでいきます。

「教育CSR大賞2012」部門賞を受賞

株式会社リバネスが主催する「教育CSR大賞2012」において、当社新入社員による理科「出前授業」が「出前実験教室(中高生)部門賞」を受賞しました。「教育CSR大賞」は、企業と教育現場が連携した先進的な取り組み事例を紹介し、教育応援活動の活性化を図ることを目指しています。

当社グループでは、企業人として社会に貢献していくことを目的に、昨年度より新入社員を対象に社会貢献研修を開始しました。今年度は、理科で学ぶ「静電

気」が身近なコピー機でどのように応用されているのかを簡単な実験を通じて学んでもらうことで、理科や科学に対する興味を喚起するとともに、社会でどのように役立っているかを体験してもらいました。加えて、キャリア教育の視点も取り込み、「中学・高校・大学・大学院での過ごし方」や「社会人になって感じること」などを語りかけ、進路や将来を考えてもらう機会も設けました。来年度も「出前授業」を継続実施し、地域の社会的課題解決に協力していきます。

その他

「ニューイヤー駅伝2013」優勝

2013年1月1日に行われた「第57回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)」において、コニカミノルタ陸上競技部が5年ぶり7度目の優勝を果たしました。キャプテンの宇賀地選手を中心に、若手とベテランが上手く融合し、2位に3分52秒の大差をつけて圧勝しました。「皆様の声援が後押ししてくれた」と、選手たちも応援してくださった方々に大変感謝しています。引き続き、暖かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

